

10分でわかる

# 社会・経済のうごき@しんぶん.yomu

知っておきたい日本経済トピックスを新聞から抜粋しました。(社)長井法人会(TEL88-3960 FAX88-3823)

## 長期金利、過去最低を更新

4月4日の国債市場は日銀の金融緩和強化政策決定を受け、長期金利の指標となる10年債の利回りは0.435%となり、これまで最低水準だった2003年6月(0.440%)を更新した。市場の予想を超える日銀の国債の購入規模ただけに、国債相場は上昇し、金利が下がった。また、東京外国為替市場は一気に円売りが加速し、前日比2円以上も急落した。東京株式市場は、買い注文が殺到し、日経平均株価は550円以上も上がった。

## 高校生の約6割が「留学したくない」

文部科学省が全国約50万人の高校生を対象にした調査で、「いつか留学したいか」と尋ねたところ、58%が「思わない」と考えていることが分かった。「留学したくない」理由(複数回答)として、「言葉の壁」(56%)、「経済的に厳しい」(38%)、「外国での生活や友達関係が不安」(34%)などが挙げられた。下村文部科学相は「世界で戦える人材を育てるため、長期的に日本人留学生を現在の2倍の12万人に増やしたい」と目標を掲げている。

## 音楽ソフト売上高、日本が初の世界首位

国際レコード産業連盟の発表によると、CDやダウンロードを合わせた音楽ソフトの売上高が約43億ドル(約4300億円)となり、統計開始の1973年以降で初めて米国(約41億ドル)を抜き、世界一になったことが分かった。日本は前年比4.0%増と4年ぶりに拡大に転じた一方、米国や英国などでは売り上げが縮小したことが背景にある。

## 裁判審理、「理解しやすい」が低下

最高裁が昨年1年間の裁判員裁判に参加した裁判員を対象にしたアンケート調査結果によると、審理内容が「理解しやすかった」と答えた割合が58.6%にとどまり、過去4年間で最も低かったことが明らかになった。また、法廷での説明が「わかりやすい」と感じたのは、裁判官(86.2%)、検察官(63.3%)、弁護士(34.0%)の順だったが、いずれも過去4年間で最も低かった。

## セブン&アイ、小売業初の3千億円の利益

セブン&アイ・ホールディングスが発表した2014年2月期の連結営業利益見通しが3400億円となり、国内小売業として初めて3000億円を超える見通しにあることが分かった。2013年2月期の連結決算が過去最高の2956億円に達している。コンビニエンスストア事業が堅調で、利益率が高いプライベートブランド(PB)商品が貢献し、営業収益を押し上げている。ただ、スーパー事業は前年度同期比1%増と苦戦している。

## 私大下宿生への仕送り額、最低を更新

東京都地区私立大学教職員組合連合が首都圏を中心とする次第に入学した下宿生の保護者を対象にしたアンケート調査によると、月額平均の仕送り額は8万9500円だった。12年連続の減少で、過去最低を更新していることが明らかになった。過去最高となった1994年度の12万4900円から約3割も落ち込んでいる。家賃を除いた生活費は1日当たり換算で923円となる。

## 新車販売での約4割を「軽」が占める

日本自動車販売協会連合会がまとめた2012年度の新車販売台数は昨年9月まで実施されたエコカー補助金の追い風もあり、前年度比9.6%増加の521万台に達し、5年ぶりに500万台を上回ったことが分かった。このうち軽自動車販売台数は同16.8%増加の197万台で、新車販売台数の37.9%を占めた。今年度はエコカー補助金の反動での減少予想に加えて、車体課税撤廃の議論の帰趨が見えず、買い控えが見られるのではとの危惧も広がっている。

## GW期間中の旅行者数、過去最高に

JTBは今年のゴールデンウィーク期間中の国内・海外旅行者数は過去最高の2279万6千人に達するとの旅行動向見通しを発表した。同見通しでは、国内旅行は景気の上向き感から前年同期比1.0%増加の2223万人と予想しており、5月3日がピークとなるとしている。海外旅行は期間中に平日が3日間をはさみ日並びが悪いこともあって同5.0%減の56万6千人とみている。